

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<https://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこのたび、下記項目の検査受託を開始することとなりましたのでご案内いたします。

弊社では皆様のご要望にお応えすべく、今後とも検査の新規拡大に努めてまいります。

敬具

記

新規受託項目

- [13310] 可溶性CLEC-2 (sCLEC-2)

受託開始日

- 2024年5月20日(月)



可溶性CLEC-2

生体内の血小板活性化を評価するために、現在血小板第4因子 (PF4)、 β -トロンボグロブリン (β -TG) などが使用されています。しかしながら、採血や採血後の血漿分離などさまざまな所作で容易に血小板が活性化しこれらが放出されるため、偽陽性となることが多く注意が必要とされています。

C-type lectin-like receptor-2 (CLEC-2) は血小板の膜表面に存在する受容体蛋白で、リガンドであるpodoplaninなどと結合して血小板活性化、血小板凝集を惹起します。また、さまざまな刺激により血小板は活性化され、matrix metalloproteinaseなどの酵素を放出しますが、CLEC-2はこれらにより細胞膜表面から遊離し、soluble formのCLEC-2 (sCLEC-2) が生成されます。

sCLEC-2はPF4、 β -TGと異なり日常の臨床検査で使用される標準的な採血手順で血小板の活性化を検出できるため、動脈血栓症の発症などを予測する新しいマーカーとして期待されています。

この度、山梨大学と当社グループ企業の協業でsCLEC-2測定試薬を開発、同試薬による受託検査を開始しますのでご活用ください。

検査要項

項目コード	13310
検査項目名	可溶性CLEC-2 (sCLEC-2)
検体量*	クエン酸血漿 0.5mL [容器番号: 15番→02番]
保存方法	凍結
検査方法	CLEIA
基準値(参考値)	57.4~150.6 pg/mL
報告上限	80,100 pg/mL 以上
報告下限	20.0 pg/mL 未満
所要日数	不定期:月1回
実施料	未収載
備考	*: 必ず血漿分離の上、ご提出ください。 3.2%クエン酸ナトリウム液0.2mL入り容器に血液1.8mLを正確に入れ、全量2.0mLにしてよく混和後、温度設定18℃~25℃、1,500×gで15分間以上または2,000×gで10分以上遠心分離し、血漿を凍結してご提出ください。 検体提出(容器番号02番)は、4mL容器をご使用ください。

参考文献

Kazama F, et al. : Platelets, **26** (8) : 711-719, 2015.

Sun L, et al. : Thrombosis Journal, **22** (27) , 2024. (doi:10.1186/s12959-024-00594-8)